

1 主題名 家族の愛情 4-(3) 家族愛

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目4-(3)は、「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくる。」である。児童の日々の家庭生活は、各家庭の存在と家族の愛情に支えられている。3学年の児童は、家族の一員として父母や祖父母の立場に立ったものの考え方もできるようになってくる時期である。ところが児童は父母、祖父母、などの愛情を意識する機会が少ないと思われる。そこで本時では、家族へのありがたさについて考え、感謝の気持ちをはぐくんでいきたい。

(2) 児童の実態（健全な自尊感情に関する実態調査 平成20年4月24日実施

阿見町立本郷小学校 第3学年1組男子17人、女子18人、計35人）

（質問）自分はだれかに大切にされているなあと思いますか。

選択肢	人数
そう思う	14人
だいたいそう思う	11人
どちらともいえない	1人
あまりそう思わない	2人
そう思わない	7人

上記の実態調査から、学級の7割を超える児童が家族や友達、教師等による「包み込まれ感覚」をもっていると考えられる。「包み込まれ感覚」は、家族ではなくてもはぐくめるものではあるが、3学年という段階を考えると家族が大きな位置を占めていると思われる。しかし、「あまりそう思わない」が2人、「思わない」が7人おり、合計9人の児童が、「包み込まれ感覚」が十分にはぐくまれていないのではないかと考えられる。または、これまで育ってきた生活の中で、家族の愛情に気付く機会がなかったのではないかと考えられる。

そこで本時は、ドラえもんの資料を使い、主人公「のび太」の気持ちと共感しながら、家族の深い愛情の存在に気付くことにより、「包み込まれ感覚」をはぐくめるようにしていきたい。

(3) 資料について（資料名「ぼくの生まれた日」ードラえもんー文溪堂）

本資料は自分の誕生日に親から叱られ、家を飛び出した主人公（のび太）が、タイムマシンで自分の生まれた日を訪ね、家族の自分への期待や、深い愛情を感じる姿を描いたものである。「ドラえもん」を資料としていることで小さい頃から親しんでいる児童が多く、主人公の生活背景や性格を把握しているため、主人公の気持ちに共感しやすい資料である。

本時では主人公（のび太）の気持ちを考えさせることで、家族から受けている愛情に気付かせ、感謝していこうとする価値に迫っていきたい。

(4) 健全な自尊感情をはぐくむための段階的な指導①

自尊感情の構成概念の第1段階「包み込まれ感覚」が、健全な自尊感情の基礎となるものであり、これを育成することができなければ他の構成概念をはぐくんでいくことは難しい、としている。そこで本時では第1段階である「包み込まれ感覚」の視点から、家族の愛情に気付くことができるような資料を用い、2学年で学習した生活科の「わたし・ぼくの成長」と関連付けながら、健全な自尊感情の基盤を育成していきたい。

(5) 他の活動との関連

本時の導入において、2学年で学習した生活科「わたしの成長」で作成した「わたしのアルバム」を振り返ることで、自分自身の誕生や成長の様子、家族の愛情に気付くことができるようにする。

3 本時の指導

(1) ねらい

自分が大切にされているという家族の愛情に気づき、家族に対する感謝の気持ちをもとうとする。

(2) 準備・資料 場面絵、ワークシート

(3) 展開

配時	主な活動と発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
5	1 2年生の生活科で学習した「わたしの成長」を思い出して話し合う。 ○ アルバム作りをしてどんなことを思いましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんのとき、みんながうれしそうに写真に写っていた。 ずいぶんおおきくなったなあ。 家の人がお世話をしてくれていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学年で学習した生活科の学習を思い出すことで、自分の誕生日や成長にを振り返ることができるようにする。
20	2 資料「ぼくの生まれた日」を聞いて話し合う。 ○ パパやママに叱られた時ののび太はどんな気持ちだっただろう。 ◎ 病室の外でパパやママの話を聞いている時のび太は、どんな気持ちだっただろう。 ○ のび太は、パパとママに喜んでもらえるために、どんなことを考えたでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ぼくの気持ちを全然分かってくれないんだから。うるさいなあ。 「のび太」という名前には、パパやママの願いが込められているんだ。 ぼくのことをとても大切にしてくれているんだ。 パパやママの期待にこたえていきたいなあ。 ぼくは大切にされているんだから何かしてあげたいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面絵を使うことにより、誕生日に叱られて悲しい気持ちになったのび太の心情に共感できるようにする。 家出をしてきた時ののび太の気持ちと対比させることで、のび太の驚きに共感させたい。 家族に大切にされていることに気付くことから、自分が家族のために何ができるか考えられるようにする。 時間を十分にとることで、主体的に価値を捉えられるようにする。
15	3 自分の生活を振り返る。 ○ 家族に大切にされているなあと思うのは、どんなときですか。 ○ その時どんな気持ちになりますか。	<ul style="list-style-type: none"> 悩みを聞いてくれた。 ほめてくれたり、助けてくれた。 一人で大きくなったんじゃないんだなあ。 うれしいなあ。 心が温まるなあ。 ありがとうという気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が家族の愛情を受けていることを感じ、大切にしてくれる人に感謝の気持ちがもてたか。 (観察・発表・ワークシート) 自分自身が家族に愛されているという「包み込まれ感覚」に気付かせていきたい。 愛してくれている相手へ感謝する気持ちをもつことの素晴らしさを感じ取れるような話をする。
5	4 教師の説話を聞く。		

4 実践化への手立て

- ・「母の日」「父の日」などの事前指導において家族への感謝の気持ちを抱けるようにする。
- ・事後指導で、心のノート P78・79の「わたしの成長を温かく見守り続けてくれる人」を家族とともに読み、話し合いながら家族への思いを記入することで家族への感謝の気持ちを深めさせる。